

裁判の迅速化に係る検証に関する意見 目次

平成16年1月28日
日本弁護士連合会
副会長 藤井 克己

1. はじめに
 2. 検証の基本方針
 - (1)検証の目的 - 公正・迅速・充実した手続の下での迅速 -
 - (2)検証の方法 - 総合的、客観的かつ多角的に -
 - (3)裁判の独立とプライバシーの確保
 - (4)透明性の高い検証
 3. 検証項目(基本的視点)
 - (1)定量的・統計的調査分析と定性的・評価的調査分析
 - (2)民事・刑事の区別と事件類型による検証
 - (3)全国で全ての事件を対象に
 - (4)モニター方式の採用
 4. モニター方式の例としての「福岡方式における実験」の紹介
 - (1)福岡での検証
 - (2)あるべき検証
 - (3)全国で実施すべし、
 5. 検証項目案
 6. 検証の実施方法
 - (1)定量的・統計的調査分析
 - (2)定性的・評価的調査分析
 - (3)各地における協議会・研究会等との連携
 7. 検証の結果の評価・公表
 8. 弁護士会の協力について
 9. 貴検討会に期待するもの
- 別紙 検証項目案
- 資料1 地方からの司法改革. 福岡県弁護士会(平成6年9月30日)の「民事裁判の改善」
- 資料2 民事訴訟の運営改善関係資料(2). 法曹会(平成6年11月10日)の「福岡地方裁判所審理充実・促進方策実施要領」の検証実検に関する中間報告書(平成6年3月)
- 資料3 対話型審理. 信山社出版(平成8年2月25日)の「福岡での実践を踏まえて」